

女性の地域での活躍をサポートします！

女性のチャレンジ通信



地域活動を始めたい！ 今の活動をもっと拡げたい！

一緒に活動してくれる仲間を見つける！

そんな女性たちのチャレンジをサポートし、

一緒にあなたの“これから”を考える

「女性チャレンジ応援拠点」がお届けする

ニュースレターです。

発行：2017年2月



オープニングイベント開催

2017年1月26日（木）14時～16時 会場：クレオ大阪中央 交流サロン

女性チャレンジ応援拠点コーディネーターのリー・ヤマネ・清実さんを聞き手に、都島区の地域情報ポータルサイト「都島区.com」（都島ドットコム）を運営するNPO法人「mamaコム」の代表の柳生久理子さんをゲストスピーカーにお招きしたトークライブ「地域が私たちのインキュベーション」を開催しました。

都島区生まれで結婚後も都島区に暮らす柳生さんは、出産後に子連れで遠方に出かけることが大変なことから、梅田などの繁華街の情報だけでなく「地元のお店やイベントが特集された情報誌があればいいな」という思いを持っていました。2002年頃区内で開業する夫の店のPRのために作ったHPを、より多くの人に見てもらいたいとベビーカーを押しながら地元を歩いて宣伝。その後、地域のお店やイベントを掲載する情報サイトを立ち上げました。

掲載情報も増える中、「ママ友」たちがサイトの制作や取材を手伝ってくれるようになり、15人のスタッフを抱えるNPO法人に発展。今では、事務所を借りて、そのスペースでイベントを開催する他、地域の商店と協働でハロウィンイベントを主催するなど、情報サイトの運営にとどまらない幅広い活動を行っています。また、城東区や東淀川区など近隣の区にも同じ活動を拡げています。

最初は、イベントチラシを置いてもらうためには、区役所のどの担当を訪ねていったらいいかわからず戸惑うこともあったそうですが、活動を続ける中で、町会の人や区民センターの人とのつながりが生まれ、関係者とのネットワークができて、活動も拡がっていきました。

柳生さんの肩ひじ張らない自然体な雰囲気と、新しいことに気負わずにチャレンジする姿勢は、「何かを始めたい人」には、とても参考になります。

さらに、女性たちへの応援メッセージとして、パートナーの理解の重要性に加え 「『できるか、できないか』ではなく『やるか、やらないか』ですから」とおっしゃる柳生さん。ソフトな口ぶりの中に、15年活動を続けてこられたガツツを感じさせられました。



トークライブに引き続き行われた交流会では、早々と参加者同士で名刺交換が行われるなど、にぎやかなお喋りの輪が広がりました。活動分野や関心の領域などが近い人同士を、スタッフが引き合わせるなど、顔のみえるネットワーク作りが展開され、活発な交流が行われました。

交流会終了後も、「その後、SNSで交流しているんですよ」、「〇〇さんの団体を訪問する予定です」といったうれしい報告も寄せられています。女性チャレンジ応援拠点の利用をきっかけに、皆さん的人脈の輪が広がり、新たな動きを始めたり、活動が拡がる予感にあふれた交流会でした。



女性チャレンジ応援拠点について



女性チャレンジ応援拠点は、誰でも気軽に立ち寄れる、明るく、オープンな雰囲気で、幅広い年齢の方やいろいろな想いを持った方が利用しやすい場所をイメージして作りました。そのコーディネーターを担当してくださったのは、これからインテリアコーディネーターとして活躍されている伊藤さんです。

自然色を基調とした落ち着いた中にも、「これから頑張りたい!」「何か始めたい!」という女性の力があふれてくるような素敵な空間です。ぜひ、気軽にお立ち寄りくださいね。

チャレンジの先輩に聞く! 活動を始めるヒント Vol.1

インテリアコーディネートで 女性のエンパワメントにつながる空間を作りたい! ~「好き」を仕事にする~

伊藤 ひろみさん（インテリアコーディネーター）

女性の支援に携わりたい!

現在は、住宅メーカーのインテリアコーディネーターとして働いている伊藤さん。

大学では、いかなる権力にも対等に戦える司法の世界に興味を持ち法律を専攻。その後、絶余曲折を経て、男女共同参画センターの非常勤職員として仕事をする中で、日本や世界における女性の現状と支援事業に触れ、改めて『女性のエンパワメント・支援』への関心が高まったそうです。



子どもの頃の夢と一步踏み出すきっかけ

その後、住宅などの壁紙を扱う会社に正社員として就職し、経理の仕事を中心に担当していましたが、インテリア関係の商品の輸入などの業務に携わりながら、ふと、自分は子どもの頃からインテリアが大好きだったことを思い出しました。小学生の頃、住宅の間取り図が掲載されている住宅販売のチラシが好きで、よく自由帳に自分で考えた家の間取り図を描いていました。卒業文集を見返すと、将来の夢は「インテリアコーディネーターになりたい」と書いてありました。「もっとインテリアに関する知識を学びたい!」と思うようになったけれど、資格をとることには、まだ踏み切れなかったそうです。

そんな時、ヨーロッパでのインテリアの見本市への出張に同行する機会がありました。そこで、たくさんのインテリアやインテリアに携わる人々と出会ったことが、夢にむけて一步踏み出すきっかけとなり、出張から帰国後、本格的に学べる業界トップのインテリアコーディネーターの学校へ入学を決意。1日3時間の睡眠時間が続く中、仕事と学校の課題を何とか両立させ、そこまで頑張れる自分に転職のゴーサインをだしました。

在学中には、必要と感じて建築系CADの学校にも通い、卒業後、住宅メーカーに就職しました。

好きを仕事にした先にあること

現在はインテリアコーディネーターとして、新築戸建ての内装、照明、家具、カーテン等のコーディネートを担当。お客様の理想の家造りのお手伝いをするなかで、お客様の笑顔、ありがとうという言葉が何よりの励みに。

好きを仕事にしてわかったことは、「自分が幸せになること」が「他の人も幸せにできる最初にすべきこと」だということだそうです。迷っている人、悩んでいる人がいれば、まずは自分が幸せを感じるためにどうすればよいかを考えて欲しい。もっと自分に優しくなって欲しい。そんな想いをすべての女性に伝えていきたい。

これから手がけていきたいのは、頑張っている女性がホッとくつろげる空間づくり。ほんの少しの模様替えや工夫をすることで、心地よく過ごせる快適な空間にしていくことができます。そんな提案をしていきたいと話す伊藤さんの表情はキラキラと輝いていました。



拠点がオープンして早1か月。

日々、あふれる想いを抱いた女性たちが訪れて、いろいろなお話ををしていかれます。

そんな拠点の様子を紹介します。

「夜間開室初日、女性チャレンジ応援拠点ならではのスタート！」

1月26日にオープンした「女性チャレンジ応援拠点」。

夜間の開室は2月1日が初日でした。

開室前から始めていたスタッフミーティング。そのまま続けていたら、うれしいことに午後6時すぎにベビーカーを押したママが入口に。

「あっ、いいですか？」

すかさずスタッフ皆が、「どうぞ、どうぞ！」。

寒空の夜に、よくぞ来られました。



ベビーカーのボクはまだ一歳すぎたばかりなのに、全然ぐずりません。ママがいつもと違って熱心に大事なことを話しているのがわかったのでしょうか。ときどき大人二人の会話に彼なりの合いの手を入れて、大人たちを自分に振り向かせてました。

「子どもが大きくなった時に子どもが誇りに思う母親になってみたいんです！」

そこに向けてこれからどうすればいいか。ママから次々と話が出てきます。思いがあふれ出ます。

そのつど応え、意見を述べ、ささやかなアドバイスを伝える。それらを心の新しい引き出しに納めているようなママの表情。そうこうするうちに別の利用者が来室されました。

年齢は同じぐらい、なつかつ前途を拓きたいという思いは共通。初対面でしたが、すぐに打ち解けて、話がはずんでいったのでした。何気ない会話のようで、認識を新たにしたり、深めたり。

開室時間の2時間はあつという間に過ぎました。

ひと足先に退室したママも、あとで合流した女性も、これからの歩みに<メリハリ>がついたような表情で拠点を後にしました。足取り軽やかに、ハリのある声で、「ありがとうございました！」と。

女性チャレンジ応援拠点の一つの役割がここにあります。

* そうでないのにそう感じてしまう手詰まり感。

* そこから脱して、広い目をもち、まずは気持ちを整理する。

* そうすることで、何をどうすればいいのか自分なりに道筋がみつかる。

ぜひ、あなたの道筋をみつけに拠点までお越しくださいね。



- ・子育て中だけれど、何か社会に役立つことを始めるヒントがほしい！
- ・自分たちの活動を通じて、地域の人たちと交流したい！
- ・地域でボランティアを始めてみたい！
- ・自分の持っている資格やスキルを活かせる場を見つけたい！
- ・一緒に活動してくれる仲間を見つけたい！
- ・チャレンジしたいと思う何かを見つけたい！

まずはお気軽に拠点にお越しください。



開室日

コーディネーター
が応対

専門スタッフ
が応対

火	水	木	金	土
10 : 30 ～ 12 : 30	18 : 00 ～ 20 : 00	13 : 00 ～ 15 : 00	10 : 30 ～ 12 : 30	13 : 00 ～ 15 : 00

火	水	木	金	土
10 : 30 ～ 12 : 30	18 : 00 ～ 20 : 00	13 : 00 ～ 15 : 00	10 : 30 ～ 12 : 30	13 : 00 ～ 15 : 00

火	水	木	金	土
10 : 30 ～ 12 : 30	18 : 00 ～ 20 : 00	13 : 00 ～ 15 : 00	10 : 30 ～ 12 : 30	13 : 00 ～ 15 : 00

火	水	木	金	土
10 : 30 ～ 12 : 30	18 : 00 ～ 20 : 00	13 : 00 ～ 15 : 00	10 : 30 ～ 12 : 30	13 : 00 ～ 15 : 00

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休み



おおさか“大”女子会

参加無料

～なりたい自分になるために～

地域課題を解決するための活動など、「これから何かを始めたい」と思っている女性に向けて、こども食堂や地域に根ざした活動スペースづくりなどに取り組んでいる方の話を聞きながら、活動の始め方やネットワークづくりなどについて、参加者同士でグループワーク等を行います。

日 時：平成29年3月5日（日）14時～16時

定 員：80名（申込先着順）

場 所：クレオ大阪中央

対 象：企業、NPO、大学、支援組織関係者
地域活動に参画する意欲・関心を持つ女性

ゲスト：



深沢周代さん

十三 こども0円食堂
プロジェクト淀川区十三生まれ、十三育ち。
2010年よりウェブ制作者の夫とふたりで大阪発のコワーキングスペースを運営。2015年からは、こども食堂活動にも取り組む。

宮嶋愛弓さん

四條畷学園大学講師、作業療法士
JICA青年海外協力隊員

1997年ベトナムの路上で生活する障がい児を見て作業療法士になることを決意。青年海外協力隊員としてベトナムで活動。現在は、大学講師として作業療法士の育成や支援学校の活動に関わる。

(ほか)

申込み：電話またはFAXで事業名、名前、連絡先（電話番号とFAX番号）を事務局へ。



大人の井戸端会議のような各種テーマのお喋り会やインテリアコーディネートなどの
楽しく気軽なミニ講座などを企画します。
知り合いが増えるきっかけにも。

参加無料

【開催予定】 3月2日（木）・15日（水）・25日（土）10:30～12:00
他の日程の開催予定もありますので、お問い合わせくださいね！

拠点では、顔をあわせて話しができる、つながれる場を活かして、気軽に参加できるミニサロンを随時開催します。フェイスブックやニュースレターをチェックしてみてください！

女性チャレンジ応援拠点フェイスブック

<https://www.facebook.com/challengewomen.support/>

きらめく女性の応援ひろば（大阪市ホームページ）

<https://www.facebook.com/osakaladygo/>

✿女性チャレンジ応援拠点

〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25

クレオ大阪中央4階

電話&FAX 06-7659-9640

e-mail women-kyoten@danjo.osaka.jp